

歴史データを用いた実証計量分析

講師 井上達樹

1. 研究内容

本ゼミでは、歴史統計データを用いた広く経済に関わる実証分析研究(計量経済史研究)に必要な知識やスキルを学び実践します。従来は記述史料の読解という歴史学的な側面の強かった経済史研究ですが、統計学に基づく因果推論の手法や情報処理技術の発展に伴い、今や統計データを用いた実証分析によるアプローチが国際的な主流になりつつあります。また、経済に関する実証分析の側から見ても、歴史に注目するからこそ発見できることが数多く存在するため、歴史データ分析は意義あるものとなっています。

こうした歴史データを用いた実証分析を行うため、本ゼミでは経済史(歴史)、計量経済学(数学・統計学)、統計ソフトのプログラミングといった幅広い知識やスキルの獲得を(場合によっては英語や旧字の解読も)目指します。

2. ゼミの進め方

《2年次》

輪読形式を中心として教科書を読み進めていくことで、経済史やデータ分析に関する基礎知識を習得する。発表担当者は発表資料や課題の解答を準備すること。受講生の希望により夏季または春季に合宿を実施する場合がある。

《3年次》

輪読やアクティブ・ラーニング形式を中心として、データ分析に関する基礎知識や統計ソフト(STATAやR等)の基礎スキルを習得する。発表担当者は発表資料や課題の解答を準備すること。受講生の希望により夏季または春季に合宿を実施する場合がある。

《4年次》

各自研究課題を進めていき、卒業論文の執筆・進捗報告を行う。

3. 教材

受講生の興味関心を考慮して教員から指示するが、2年次春学期は以下の教科書を予定している。

・岡崎哲二(2016)『コア・テキスト経済史 増補版』新生社

4. 成績評価の方法

授業への貢献や発表内容、課題等から総合的に評価する。毎回の出席を前提とするため、無断遅刻・欠席は厳禁である。

5. ゼミ入室試験(選考方法)

選考方法は、各 Oh-o! Meiji グループの概要欄を確認すること。

6. その他・志願者へのメッセージなど

本ゼミを希望する場合には、必ずガイダンスを確認するようにしてください。

また、本ゼミでは歴史からプログラミングに至るまでの非常に広範な知識やスキルが必要となるため、経済史やデータ分析に関心があるのはもちろんのこと、何よりも学ぶ意欲と努力を惜しまないことが重要になります。現時点では必ずしもそれらの能力を有している必要はありませんが、今後ゼミ活動を通じて習得していく気概が求められます。